

千曲・坂城地域 自立支援協議会だより

やよい号
〈令和6年3月発行〉

編集・発行 千曲・坂城地域自立支援協議会

事務局 千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター

住所 千曲市戸倉2388番地 千曲市ふれあい福祉センター2階

TEL : 026-275-0548 FAX : 026-214-3013

E-mail : cs-soudan@bh.wakwak.com URL : <http://cs-soudan.pupu.jp/>

自立支援協議会 下半期の活動報告

～ 協議会全体の活動状況 ～

- 10月3日《第2回運営委員会》 上半期の活動報告、地域課題について、全体会について
10月25日《第2回Nimo包括検討委員会》 「障がいの理解」「当事者の声」に関連した取り組みについて
11月22日【全体会】 第1部 長野市保健所長 小林良清氏 講演
第2部 トークセッション ～わたしたちの声を届けたい～
「アフターコロナの今 笑顔で暮らし続ける地域づくりについて考える」
12月20日《第3回運営委員会》 障がい福祉計画等について
1月17日～《さんきゅーあーと展》
1月16日～24日 さんきゅーあーと展 in 戸倉創造館
2月1日～15日 さんきゅーあーと展 in 千曲市役所ガレリア
1月31日《第3回 Nimo包括検討委員会》 今年度の振り返りおよび次年度に協議する課題について
2月26日《千曲・坂城地域自立支援協議会 事務職員研修会&交流会》
2月27日《第4回 地域連絡会》 令和5年度活動のまとめ 及び 令和6年度の活動計画について
2月29日《千曲・坂城地域自立支援協議会 中堅職員研修会&交流会》
3月26日《第4回 運営委員会》 令和5年度活動のまとめ 及び 令和6年度の活動計画について

～ 各専門部会の活動状況 ～

《相談部会》 ※ 相談会エイド開催（4回/年）

第3回部会（1月25日）今年度の振り返りと
次年度の活動計画について

※ 相談員の立場で他部会に出席

《生活部会》

第4回部会（12月13日）研修「精神疾患のある
利用者へ関り、ほか」

第5回部会（2月14日）今年度の振り返りと
次年度の活動計画について

《こども部会》

第4回部会（11月8日）放デイの現状について

放デイ事業所説明会（11月23日）

第2回 医ケア委員会（11月28日）

ライフステージごとに課題を検討

相談の入口となる保健師の関りについて共有

第5回部会（1月17日）今年度の振り返りと
次年度の活動計画について

《はたらく部会》

第4回部会（10月26日）障がい者の雇用状況について

第5回部会（12月14日）法改正の係る国の動向

第6回部会（2月15日）今年度の振り返りと
次年度の活動計画について

《こころ部会》

第3回部会（12月6日）研修「ピアの活動を学ぶ」
～ひこばえの会と佐久圏域「来い・コイの会」～

第4回部会（2月21日）今年度の振り返りと
次年度の活動計画について

《さん・さんネット部会》

第4回部会（10月24日）臨時会（12月5日）ほか

さんきゅーあーと展に向けた打合せ・準備作業

準備会（12月21日）当事者も参加して共同作品制作

第5回部会（2月20日）今年度の振り返りと
次年度の活動計画について

さんきゅーあーと展 が開催されました

さん・さんネット部会主催の『さんきゅーあーと展』が開催されました。
今年度は、戸倉創造館と千曲市役所ガレリアの2会場での開催となり、個人作品が62点、
団体作品が7点、共同作品には152名の方にご参加いただき、とても素敵な作品展になりました！
今年のさんきゅーあーと展は、当事者や地域の方と一緒に共同作品の制作などを行った準備会の
開催や、作品を出展した方に記念品をお渡しする試みなど、新たな取り組みが随所にみられて、
ますますパワーアップした「みんなのさんきゅーあーと展」になりました。



《 戸倉創造館 会場 》
～ 1月16日 から 1月24日 ～



《 千曲市役所ガレリア 会場 》
～ 2月1日 から 2月15日 ～

～ 参加された皆さんから、メッセージが届きました！ ～

かわいい色鉛筆ありがとう！
家でぬり絵をするね。

色えんぴつ、ありがとう♪
また参加したいです。

がんばって作ってよかった！
色鉛筆、嬉しいです♪

来年も
さんきゅーあーと展を
見に行きたいなあ！

メッセージ…
参加できて楽しかったです
色鉛筆 大切に使います



ご参加された方、ご来場いただいた皆さん、
そして運営に携わった関係者の方々、
たくさんの感動をありがとうございました。

期間中に来場された方のメッセージも加わって完成した
共同作品「やさしさあふれる 大切な未来(あした)」は
千曲市ふれあい福祉センターの2階に展示されています。
お近くにお越しの際に、ぜひご覧ください♪



《 千曲市ふれあい福祉センター 2階 》

ひこばえの会 交流イベント『みんなで和気あいあい』

2月28日、千曲市ふれあい福祉センターでひこばえの会の3回目の交流イベント『みんなで和気あいあい』が開催されました。

今回は、千曲市・坂城町それぞれの精神障害家族会や福祉事業所からも申し込みいただき、予定定員を大きく超える41名の参加者で楽しいひと時を過ごしました。

第1部は、NPO法人ポプラの会（長野市）会長の山本悦夫氏を講師にお招きして、「こころを受け止めて～仲間づくり・当事者だからできる事、思いについて～」というテーマでお話をいただきました。山本さんがどのような想いで当事者会を立ち上げたのか、ポプラの会が大切にしてきたことなどについてお話いただき、参加者の皆さんは真剣な表情で聞き入っていました。



《 第1部 講演会の様子（右上：山本悦夫氏） 》

第2部は、グループに分かれて交流をはかりました。

1グループは「みんなでつくろう おたすけマップ」と題して、この地域にあったらいいと思うお店や施設を出し合いました。食べ物屋さん、スーパーや病院といった生活に密着したもの、映画館やカラオケなど余暇を楽しむための施設、そしてそこに行くための交通手段などなど、様々な意見が出されました。

2グループは「みんなでつくろう生活情報」。自分がおススメしたい美味しいお店や便利情報を出し合っただけでなく、ひこばえの会のオリジナル生活情報マップを作りました。温泉の情報や食べ物屋さん…楽しい話題に自然と笑顔があふれて楽しくマップ作りができました。

3グループは「みんなであそぼうレクゲーム」。ひこばえの会のメンバーが用意したオリジナルすごろくは、ゲームに参加するうちに自然にお互いを知ることが出来るよう工夫されていて、みんなで和気あいあいと楽しむことが出来ました。すごろく以外のゲームも用意されていて、自分の興味のあるゲームで楽しみました。

今回は、チューリップの家とCoCoレストの販売もあり、和やかな雰囲気の中で楽しい交流会になりました。回を重ねるごとに参加者が増え、今後も楽しみです♪



★ 2グループで作った生活情報マップ



★ 3グループはすごろくゲームやジェンガで和気あいあい



事務職員・中堅職員 研修会&交流会 が開催されました

昨年度、千曲・坂城地域自立支援協議会 安藤会長の声掛けで始まった研修会&交流会。今年度は2月26日（月）に事務職員、2月29日（木）に中堅職員を対象として開催されました。

事務職員の交流会では、「事務職員は外に出ることが少なく、他の事業所の方と交流する機会がないので、いろんな情報が聞けて貴重な体験になりました。もっと仕事上の疑問点なども気軽に相談できるようになると有難いです」などの意見が出されました。

新型コロナの感染拡大で、事業所間交流の機会が少なくなりましたが、このような機会や自立支援協議会を通して、横の繋がりを作り千曲・坂城地域全体が盛り上がっていかると良いですね。



《 26日 事務職員対象の交流会の様子 》

♪ みんなに届け わたしたちの「声」・「想い」♪

令和5年度の最後を飾る「みんなに届け わたしたちの声・想い」は、千曲・坂城地域自立支援協議会の安藤会長と今年度で退職される基幹相談支援センターの中村前所長の対談をお届けします。

千曲坂城地域の障がい福祉に尽力されているお二人に、これまでを振り返って思うことなどお聞きしました。

(安藤会長) 中村さんは、今年度で一区切りということで大変ご苦労様でした。きっといろんな事があったんだろうけど、中村さんを中心にやってきた事の積み重ねで今があると感じています。

《 安藤会長 》

(中村相談員) あっという間でした。目指すところはみんな一緒だと思いますが、一人一人とどうやって関わっていくのかという所に行き着くんだろうと感じています。

(安藤会長) 小さな事を積み重ねてきて、今の基幹があって、自立支援協議会がありますね。これまで繋がりを大事にして歴史を積み重ねてきたと思うんだけど、新型コロナでその繋がりが1回切れてしまいました。もう一度人や社会の繋がりを築きたいですね。

(中村相談員) 繋がることって本当はともしんどい事。努力しないと繋がれないし、意識しないと出来ないものだと思います。繋がるには、それ相應の仕掛けを作っていかなないと出来ないと思います。

(安藤会長) 繋がるには…まずは知ってもらわないと始まらないですね。協議会が形になり、各部会の活動も活発になってきたけれど、まだまだ協議会や基幹のことを知らない人が殆どです。知ってもらえるように発信することが大切だと感じています。協議会だよりを年4回発行してもらい凄く良いと思うので、もっといろんな人の目に触れてほしいですね。

(中村相談員) 運営委員会も、外部の方や地域住民の方がいませんよね。協議会の活動報告を地域の方にも聞いていただいても良いのかなと思います。

(安藤会長) 出来ることを1つ1つ、積み重ねながらですね。その土台となるものは、今までの積み重ねで既にあるので、それをいかに大きくしていけるかだと思います。



《 中村相談員 》

(中村相談員) 私は40年に渡り福祉の世界にいて、35年間で精神の方との関わりで、人との関わりを学ばせてもらいました。そして最終的に行き着いたのが、新たに始めた駄菓子屋なんです。キャッチフレーズが「地域につながる 人につながる 未来につながる」です。普通の駄菓子屋をやりながら自然体で理解し合える場所になれば良いなあとと思っています。

(安藤会長) 自然体で理解し合える…そういう場所が自然発生的にたくさん出来てくると素敵ですね。協議会も当事者の方の声が反映されているのかというと、なかなか難しさがありますね。ひこばえの会が立ち上がりましたが、もう少し当事者の意見が反映されるような形ができると良いですね。

(中村相談員) みんなが意識しないと難しいのかな。まずは、当事者さんの声を聞かないとですね。最初にも言いましたが、結局一人一人に向き合っていて、その方の悩んでいることに寄り添い、地域で解決が難しい事は皆で考えていければ…それが協議会ですかね。

(安藤会長) もっとよく知ってもらって、みんなが利用しやすい基幹だったり協議会になっていきたいですね。

お忙しいところ有難うございました。

福祉に尽力されているお二人のお話は尽きる所が無く、熱い想いが伝わってきました。

理想を大事にしつつ、出来る事からコツコツと…積み重ねていけると良いですね。

基幹センターよりお知らせ

7年間、基幹センターで支援にあられた中村さんが3月末で退職されます。4月からは6名体制になりますが、引き続きよろしくお願いたします。

《 中村さんより一言 》

私にとって、最後の職場というよりは新たなステージを与えていただいた場所だったかと思います。多くの出会いがあったからこそ「地域で暮らす」「地域で生きていく」ために大事なことを教えていただき、たどり着いたのが、自然な形で触れあい、分かりあえる場所づくりでした。だから、まだ動き続けます！これも出会った皆さまのお陰です。そして、千曲市、坂城町の未来を祈っています。7年間、ありがとうございました。

中村 美恵子

